



期日	令和5年6月30日（金）	時間	19:30～20:30	場所	兵庫コミュニティセンター
参加者	兵庫地区／8人 …区長会役員、まちづくり協議会役員、PTAなど				
	坂井市／8人 …市長、副市長、教育長、総務部長、総合政策部長、建設部長、生活環境部長				

参加者からの意見・提案等

Q. 私の地区には約20軒の空き家があります。管理者がいる空き家はいいのですが、管理されず朽ち果てて危ない空き家もあります。特に管理者のいない空き家について、早急に手を打つ必要があると思います。行政代執行など、市の考え方をお聞かせください。

Q. 円安や肥料の高騰など、農業者に対して厳しい状況です。市の考え方や、市として具体的な支援策を伺います。

Q. 少子高齢化、特に少子化に歯止めをかける大きな施策が必要だと思えます。子育て支援や教育の充実など、市はさまざまな取り組みをしていますが、住民には今一つ伝わっていない。私たちから市外の人に伝える機会もあるので、若者施策なども含めて“市特有のアピール材料”をぜひ提供してほしいです。住民レベルの発信者を一人でも多く増やすことも、大切だと思えます。

Q. 不登校支援の拡充をお願いしたいです。小中校(義務教育)の期間は、市のステップスクールを利用できますが、高校生は利用できず、学校に行けないときの居場所や支援が途切れています。ぜひ、不登校状態の高校生への切れ目のない支援をお願いします。不登校状態にある児童・生徒や、発達に偏りがある子どもへの市民理解が進む環境を作してほしいです。

市からの返答

A. 状態のよくない空き家など、ケースに応じてなるべく早く対処したいと考えています。市では、個々への対応と同時並行で、新たな空家等対策計画の策定にも取り組んでおり、他の自治体の事例なども参考にしながら、坂井市に合った対応策を検討していきます。行政代執行については、基準などをよく精査する必要があります。

A. 営農支援については、県へ強く要望し、昨年同様の予算を確保しています。市独自の支援策については、県の施策を見ながら検討していきたいと思えます。同じように影響を受けている商工業や福祉など他の分野とのバランスをみながら、有効な対策を検討していきますので、ご理解をお願いします。

A. 給食費の半額補助や、就学前(第2子以降)のお子さんがある家庭への応援商品券の交付といった坂井市独自の施策も行っており、子育て支援や結婚応援に関する情報を工夫してホームページやLINEなどで発信したいと思えます。市ならではの取り組みが市外の人に伝われば移住にもつながりますし、市民の皆さんからも積極的に発信していただけるのは、大変心強いです。

A. 学習理解の促進や友達と関わる楽しさを実感できることが、不登校の未然防止につながると考えています。今年から市独自に不登校対策支援員配置し、学校に来ることができない子どもを中心に個別の支援を行っているほか、気がかりな子どもに対しては、学級サポーターを市単独でどの市町よりも多く配置し、楽しく過ごせる学校環境づくりを進めています。